

■ 四国労金はピンクリボン運動に

四国労働金庫（小川俊理事長）は5日、乳がん検診の大切さなどを啓発しているピンクリボンかがわ県協議会（代表・久米川啓県医師会会長）に18万3917円を寄付した。

四国労金は2012年度から、現金自動預払機（ATM）の引き出し1回につき1円を積み立て、四国各県でピンクリボンと同様の活動を行って

いる団体に寄付金を贈っている。7回目の本年度は4県で総額88万6344円になった。

高松市浜ノ町の県医師会館で贈呈式があり、四国労金の十川淳二香川営業本部長（写真左）が「有効に使っていただきたい」と久米川代表

に目録を手渡した。久米川代表は「乳がんは早期発見が大事で、早く見つければ治る。検診などの啓発に努めたい」と述べた。

